

こうべまちづくりセンターニュース

あーばんとーく

平成20年1月号（第125号）

- 平成20年度まちづくり学校基礎講座受講生募集（P.1）
- 「山麓リボンの道」を行く-その3：北野・諏訪山のみち（P.2）
- 「第21回神戸景観・ポイ外賞」受賞作品が決まりました（P.3）
- まちづくり会館展示のお知らせほか（P.4）

あーばんとーくの感想をおよせ下さい！

発行：こうべまちづくりセンター

<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

平成20年度こうべまちづくり学校基礎講座募集

協働と参画のまちづくりを目指してまちづくりの基礎を学ぶ講座です。

	日程	テーマ	内容	講師
1	5月29日 (木)	神戸のまちの歴史	神戸の歴史を通して、神戸のまちの成り立ちを学びます。	田辺真人氏 園田学園女子大学教授
2	6月 5日 (木)	神戸のまちづくり・ルールづくり	地域で活用できるまちづくりのルールや、それを活用した実際のまちづくりについて学びます。	三輪康一氏 神戸大学大学院工学研究科准教授
3	6月12日 (木)	神戸の都市デザイン	オールドアンドニューを目指した神戸の都市デザインと、海外の動向について学びます。	加藤晃規氏 関西学院大学総合政策学部教授
4	6月19日 (木)	「迫り来る地域リスクに備える」 —安全安心への脅威とどう向き合うのか?—	私たちが取り巻く自然災害・犯罪など様々なリスクに対しどのように対処すべきか、地域における「安全安心なまちづくり」の観点から学びます。	大西一嘉氏 神戸大学大学院工学研究科准教授
5	6月26日 (木)	これからの神戸の地域活動	震災から14年目を迎えた、神戸の地域活動の現状と課題はなにか、さまざまなデータや資料を通して学びます。	立木茂雄氏 同志社大学社会学部教授

※内容については変更することもあります。

- ◆ 会場 こうべまちづくり会館
- ◆ 時間 午後6時30分～8時30分
- ◆ 定員 80名（応募者多数の時は抽選）
- ◆ 受講料 ¥1,000（4月上旬に案内と納付書をお送りします）

◆ご希望の方は、氏名（フリガナ）、住所（郵便番号）、電話番号、これまでの受講の有無、性別、年齢（生年月日）、よろしければまちづくり協議会・自治会などの地域団体の役職、職業等もご記入の上、FAX（078-361-4546）、はがき（〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2番14号）、E-mail（mati2@kobe-toshi-seibi.or.jp）のいずれかでこうべまちづくりセンターまでお申し込みください。

※まちづくりセンターのHP（<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/index.htm>）からも申込みできます。

◆申込締切日 3月17日（月）必着

※ご記入いただいた個人情報は、まちづくり学校に係る連絡、資料の送付、個人を特定しない統計の作成、まちづくりに関する情報の案内（希望者のみ）を行うための利用に限定します。

●秋からは、各分野に分かれてまちづくりについてより深く学ぶ「専修講座」を開催します

コース	コース名	回数・定員	実施時期等
A	地域活動「ちえぶくろ」の活用講座	5回・30名	9月～10月
B	「安全で安心なまちをつくる」防災コミュニティづくりコース	5回・80名	9月～ 1月
C	「安全で安心なまちをつくる」防犯コミュニティづくりコース	5回・80名	9月～ 1月
D	まちなみゼミ ～景観とまちづくり～	6回・40名	9月～ 1月
E	まちづくりゼミ～地域からのまちづくり～	4回・50名	9月～12月
F	まち歩き実践ゼミ～まちづくりの実例を通して～	4回・40名	9月～12月
G	まちに刻まれた土木を訪ねる	3回・40名	9月～12月

※募集は7月に予定、あじさい市民大学夏号等でお知らせします。 ※講座の内容、回数、定員、実施時期については変更することがあります。

「山麓リボンの道」を行くーその3：北野・諏訪山のみち

森崎輝行
(いぎいき下町推進協議会)

道標のいろいろ



垂水



須磨浦



高取山の
ふもと



高原への
みち



北野・諏訪山の
みち



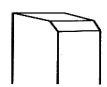
布引の
みち



摩耶山の
ふもと



六甲の
やますそ



本山の
みち

今回の山麓リボンの道は「北野・諏訪山のみち」です。今回で3回目となるシリーズですが、毎回話題とする道標を一挙に紹介しておきましょう。上図にあるように道標の頂部は様々なデザインで、地区ごとに特徴づけられています。ちなみに今回のコースの道標は、私には異人館の屋根の形を連想させますが、読者の皆さんは、いかがでしょうか？

さて、今回は、新幹線新神戸駅から「山本通」、通称「異人館通り」を経て諏訪山公園、水の科学博物館へ至るコースとなっています。

「北野」の名の由来は、福原遷都で周辺地に神仏を祀った平清盛が、生田川の西の山すそに、京の北野天満宮を勧請した時、この地(村)を北野と名づけたからだとされています。

しかし、現在の北野地区の姿は、1868年1月1日(同10月明治と改元)の神戸港開港後からのものです。最初は、海岸の砂地に外国人居留地ができ、引き続き山手の雑居地に農家の庭先を外国人が借りて住宅が建ち始め、北野のまちとしての原形ができ始めました。神戸は横浜とともに全国の大都市にはめずらしく、江戸期の城下町の伝統がありません。いわば、神戸の中心部の祖形は外国人がつくったといっても過言ではないようです。

バス停山本通3丁目付近から東方面一帯は異人館(明治期の外国人住宅の流れを汲むもの)が戦前200棟あったのですが、現在は30数棟になってしまいました。その主要部分は、市および国の伝統的建造物



風見鶏の館

保存地区に指定されています。

北野の異人館をいくつかご紹介しましょう。昭和52年にNHKドラマで一躍有名になった「風見鶏の館」(旧トーマス邸、国重文、明治42年、設計：ランデ/ドイツ)は、この地区唯一のレンガ造で、尖塔の風見鶏が館の愛称になっています。ベランダからの眺望がすばらしい旧シャープ邸(国重文、明治36年)は「白い異人館」の愛称で親しまれていましたが、近年の解体修理で外壁を建築当時の淡い緑色に復元され「萌黄の館」と改称されています。設計者と推定されるハンセル(イギリス)は、明治21年来日した、明治政府が始めた帝大での建築家教育のために人物で、神戸を中心に数多くの作品を残しています。このハンセルが自らの家として設計したのが現在のシュエケ邸(明治29年)で、屋

根のシャチが有名です。

これらの異人館やセンスの良い住宅、洗練されたレストランが立ち並ぶ通りを西に向かうことにします。しかしながら、この通りは車と同居するにはあまりにも狭すぎます。このような課題を抱えつつも、付け加えておかなければならないのは、1970年代からの「まちづくり活動」です。ややもすると観光客でみだれてしまいそうになるところを、「景観」を切り口とした住みやすい安心・安全なまちを目指した活動により、その成果を実感することができます。今後も期待したいものです

やがて、西本願寺の大谷光瑞が造った光尊寺に出ます。光瑞は東灘の二楽荘や本願寺須磨月見山別邸(現在の離宮公園)、神戸駅北東にある本願寺別院も造るのですが、本願寺別院ではその本堂の形がインドの尖塔を模したことから通称「モダン寺」とのいわれるように、外国のスタイルを取り入れたものも多くなりました。この光尊寺も屋根部は従来の和風ですが、軒から下はギリシャスタイルとなっています。



光尊寺

寺建築は、その建立時代の「新建築」であったので



モダン寺

すが、光瑞の、正に地で行っている感じがいいですね。明治以降は建築様式が欠如したかのようですが。

光尊寺の北西向かいに「ブラジル移民発祥の地」の碑と旧「神戸移民センター」があります。昭和46年に閉鎖されるまで、日本のブラジル移民の基地だったところでした。神戸が、海で外国と直結していたことを感ぜずにはおれません。

さらに進んで、諏訪山公園(金星台)に出ました。ここは1874年にフランスの観測隊が金星・ビーナスの観測を行ったことにちなみ、この名がついたということです。この中にビーナスブリッジがあります。デートスポットとして、神戸のすばらしい眺望景観の視点場として貴重なところです。

「第21回神戸景観・ポイント賞」 受賞作品が決まりました！

今年も神戸のまちの個性が光るポイントが選ばれました

神戸市では、周辺の景観に調和しながらも個性が光るポイントや、地域にふさわしい優れた景観形成に貢献したと認められる建築物やまちなみなど、まちの中でキラリと光るポイントを「神戸景観・ポイント賞」として表彰しています。今年度は、市民のみなさまから推薦された64件の候補作品の中から、選考委員会の選考を経て、以下の7件の受賞作品が決定しましたので、ご紹介します。

《特別賞》

■神戸ポートアイランドキャンパス

(神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学)
(中央区湊島1-1-3、1-3-6、1-3-11)

・神戸の新たなウォーターフロント景観の創出

コンテナバース跡地に、3つの大学が進出し、それぞれの建物が個性を出しながら、全体として1つのキャンパスを創り出しています。敷地の周囲に柵や塀などを設けず、地域に開かれた緑豊かなオープンスペースも形成しています。また、「ポーアイしおさい公園」と一体となって、みなと神戸の新しい都市的スケールの景観を創出しています。

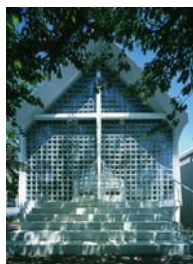


《神戸景観・ポイント賞》

■神戸新生バプテスト教会 (東灘区鴨子ヶ原 2-12-19)

・まちなみの連続性とまちの記憶への配慮

周辺のまちなみに調和した瀟洒な教会で、鉄とガラスブロックの壁面・扉が軽快さとともに、暖かさを表現しています。また、既存の桜を残し、西面入口部分にテラスを設けることで、人々の交流の場を形成しています。



■ストロングビルディング (中央区江戸町 96)

・まちなみに調和した駐車場デザインの創出

立体駐車場でありながら、旧居留地の風格あるまちなみに配慮しつつ、積極的に店舗を導入し、斬新で個性ある表情を創り出しています。さらに、駐車場の照明によって表情を変えることで、夜間景観の形成に寄与しています。



■SETRE (垂水区海岸通 11-1)

・地域特性を活かした新たな視点場の提供

アジュール舞子に隣接し、リニューアルされた地域開放型のコミュニティ型ホテルで、瀬戸内海の景観を一望できる新たな視点場を提供しています。夜間景観としても、エントランス空間のしつらえに工夫が見られます。



《市民活動賞》

■新長田駅北地区東部「まちぐるみ花のまち事業」

(長田区御屋敷通1・2・3丁目 他)

・緑花あふれるまちなみの形成

地域コミュニティ活動の一環として、街路樹の足元緑花や沿道民有地の緑花などに取り組んでいます。今後も積極的なまちづくり活動が継続して行われていくことで、良好なまちなみ景観の形成が期待されます。



《屋外広告物賞》

■旧居留地サイン計画 (中央区旧居留地内各所)

・歴史と伝統を継承するまちかどサイン

ブロンズの持つ美しい光沢と、鍛鉄の渋さから創り出される「旧居留地マップサイン」、「街路標識サイン」、「個別銘板」は、近代建築物が建ち並ぶ旧居留地の風格あるまちなみにふさわしいサインとなっています。



■MOSAIC サイン (中央区東川崎町 1-6-1)

・都心ウォーターフロントのシンボルサイン

都心ウォーターフロントの一角を形成する神戸ハーバーランドの「神戸モザイク」のシンプルでバランスよく配置されたサインは、特に都心ウォーターフロントの夜間景観を上品に演出し、広く親しまれてきました。

(都市計画総局地域支援室景観係)



景観まちづくりシンポジウムのお知らせ

「第21回神戸景観・ポイント賞」の表彰式と合わせて開催します。みなさま、奮ってご参加下さい!!

日時：平成20年2月4日(月) 13:30~17:00 (受付：13:00~)

場所：相楽園会館(中央区中山手通5-3-1)

定員：100名 ※事前申込必要 参加料無料

内容：【表彰式】 「第21回神戸景観・ポイント賞」表彰式
 【基調講演】 「ランドスケープデザインの手法と実践：土地の声に耳傾けたまちづくり」
 上山 良子 氏(上山良子ランドスケープデザイン研究所所長、長岡造形大学名誉教授)
 【パネルディスカッション】 「景観まちづくりとデザイン都市」
 パネリスト： 上山 良子 氏 小浦 久子 氏(大阪大学大学院工学研究科准教授)
 曹 英生 氏(神戸南京町景観形成協議会代表委員) 田中 まこ 氏(神戸フィルムオフィス代表)
 野澤 太一郎 氏(旧居留地連絡協議会会長)
 コーディネーター： 安田 丑作 氏(神戸大学大学院工学研究科教授)

主催：神戸市 協賛：神戸市景観形成市民団体連絡協議会

問い合わせ先： 神戸市都市計画総局地域支援室景観係 TEL：078-322-5484、FAX：078-322-6096

～好きっ。美しいわがまち神戸～ 難問解決!地域のパワーアップ展のお知らせ

市民参画推進局では、2月14日(木)から19日(火)までの6日間(10時~20時)、さんちかホールにて「～好きっ。美しいわがまち神戸～ 難問解決!地域のパワーアップ展」を開催します。様々な地域の活動を紹介する展示のほか、体験コーナーやお楽しみイベントも予定していますので、ぜひ皆さんご参加ください。

- ①わくわく体験ゾーン 「ごみ出しカレンダー作成」「ワケトン検定」や「NPOデータマップ」などの体験コーナー
- ②ウキウキイベントゾーン ワケトンが登場する「環境O×クイズ大会」や「ワケトンダンス」などを開催
- ③なるほど展示ゾーン
 - 「よその地域ってどうしてるの？」コーナー
「美しいまち」の活動事例紹介を中心としたパネル展示や様々な地域の取り組みを紹介したビデオの放映
 - 「地域活動のお役立ち情報」コーナー
地域活動に役立つ基礎的な情報や「協働と参画」に関する事例などのご紹介
 - 「地域共通の課題?『ごみ問題』を解決」コーナー
地域の具体的な悩みであるごみ問題を解決するための手法やグッズの紹介など

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テーマ	主 催 者
1月 5日(土) ~ 31日(木)	震災復興航空写真展	都市計画総局地域支援室 // 市街地整備課
2月 1日(金) ~ 29日(金)	神戸景観ポイント賞	都市計画総局地域支援室

地階ギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テーマ	主 催 者
1月24日(木) ~ 29日(火)	財兵庫労働者福祉基金協会公募作品展	財兵庫労働者福祉基金協会
2月 1日(金) ~ 5日(火)	障害者アート作品ドキドキ展《油彩・水彩》	もとまちアートミュージアム2008
2月 7日(木) ~ 12日(火)	きんもくせいの会スケッチ作品展《水彩他》	きんもくせいの会
2月21日(木) ~ 26日(火)	第5回須磨火曜スケッチの会《水彩》	須磨火曜スケッチの会

展示時間：1階、地階いずれも午前10時~午後6時(水曜日休館) ※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



最寄
 地下鉄海岸線 みなと元町駅西口から1分
 高速 花隈駅東口から3分 西元町東口から5分
 JR・阪神 元町駅西口から8分

こうべまちづくり会館
 〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目2番14号

開館時間：午前10時~午後6時(水曜日休館)

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

電話・FAX：078-361-4565

受付：午前10時~午後6時(水曜日休館)

ただし、印刷は5時まで